

河川激甚災害対策特別緊急事業・河川災害復旧助成事業の進捗状況について

- P.1 諏訪湖・天竜川河川激甚災害対策特別緊急事業及び天竜川河川災害復旧助成事業の概要図
- P.2 河川災害復旧助成事業 (一)天竜川 辰野町下辰野～岡谷市湊(釜口水門)
- P.3 河川災害復旧助成事業 (一)舟渡川 諏訪市 渋崎地区～杉菜池地区
- P.4 河川激甚災害対策特別緊急事業 (一)諏訪湖 諏訪市・下諏訪町・岡谷市
- P.5 河川激甚災害対策特別緊急事業 (一)武井田川・鴨池川 諏訪市 豊田
- P.6 河川激甚災害対策特別緊急事業 (一)新 川 諏訪市 湖南
- P.7 河川激甚災害対策特別緊急事業 (一)承知川 下諏訪町 富部

平成21年 2月12日

諏訪建設事務所

諏訪湖・天竜川河川激特事業及び天竜川災害復旧助成事業の概要図

再度災害防止に向けた取り組み

釜口水門の放流量の増加
 操作規則の見直しを行い最大放流量を400m³/sから430m³/sに増加させ、諏訪湖の水位を計画高水位以下にするようにする。

天竜川の河道改修
 平成18年7月洪水と同規模の流量(430m³/s)を安全に流下できるよう河道改修を行います。
 延長:L=(直轄)20.0+(県)11.5=31.5km

河川激特(国)・災害復旧助成(県)事業		
河川名	施工	規模
天竜川	国交省	20.0km
	長野県	11.5km
舟渡川	長野県	1.6km



諏訪湖流入河川の水門設置・河道改修
 諏訪湖からの逆流を防止するための対策や、流入河川の氾濫を抑制するための対策を行う。

激特事業(長野県施工)	
河川名	規模
承知川	L=0.2km 橋梁 2橋
諏訪湖	樋門改修 ソフト対策
武井田川	水門 1基
鴨池川	水門 1基
新川	L=1.0km 橋梁 3橋

凡例	
—	河川激特事業
—	河川助成事業
 	浸水被害区間



★ 国道20号、諏訪町富部交通止
 19日5時25分
 ~23時50分(約18時間)
 JR中央東線不通
 18日21時30分
 ~20日12時30分(39時間)



承知川被災状況
 JR中央東線、国道20号が不通に

激特事業(県施工)

助成事業 舟渡川

★ JR中央東線不通
 上諏訪 普門寺
 19日5時
 ~20日18時(37時間)

★ JR中央東線不通
 岡谷 辰野
 7月19日~8月7日
 (20日間)



河川災害復旧助成事業 天竜川 辰野町下辰野～岡谷市湊（釜口水門）

平成18年7月15日以降に停滞した梅雨前線の影響による降雨は、7月18日から19日未明にかけて記録的な豪雨となりました。特に釜口水門における連続雨量は400mmを記録し、天竜川各所で護岸が被災するとともに、諏訪湖面の水位が7月19日9時から12時間にわたり計画高水位を最大13cm上回ったことにより、諏訪湖の背水による流入河川からの溢水や、諏訪湖湖岸堤周辺・流入支川での内水氾濫が発生し、諏訪市を中心に、床上浸水1,076棟、床下浸水1,465棟など、甚大な浸水被害が発生しました。

このため、釜口水門の操作規定を見直し、釜口水門からの最大放流量をこれまでの400m³/sから430m³/sに増加するとともに、下流においては、この流量を安全に流下できるよう災害復旧と併せて河道改修を実施することにより、平成18年7月豪雨と同規模の降雨に対しても、諏訪湖の水位が計画高水位を上回らないように改善します。

長野県が管理する、釜口水門から横川川合流点までの11.5km区間では河川災害復旧助成事業が採択され、河床掘削、護岸工や河床洗掘対策などを実施することにより再度災害の防止を図ります。

位置図



諏訪湖湖周地域における浸水被害
 浸水面積 558ha
 床上浸水 1,076戸
 床下浸水 1,465戸
 一般被害額 333億円

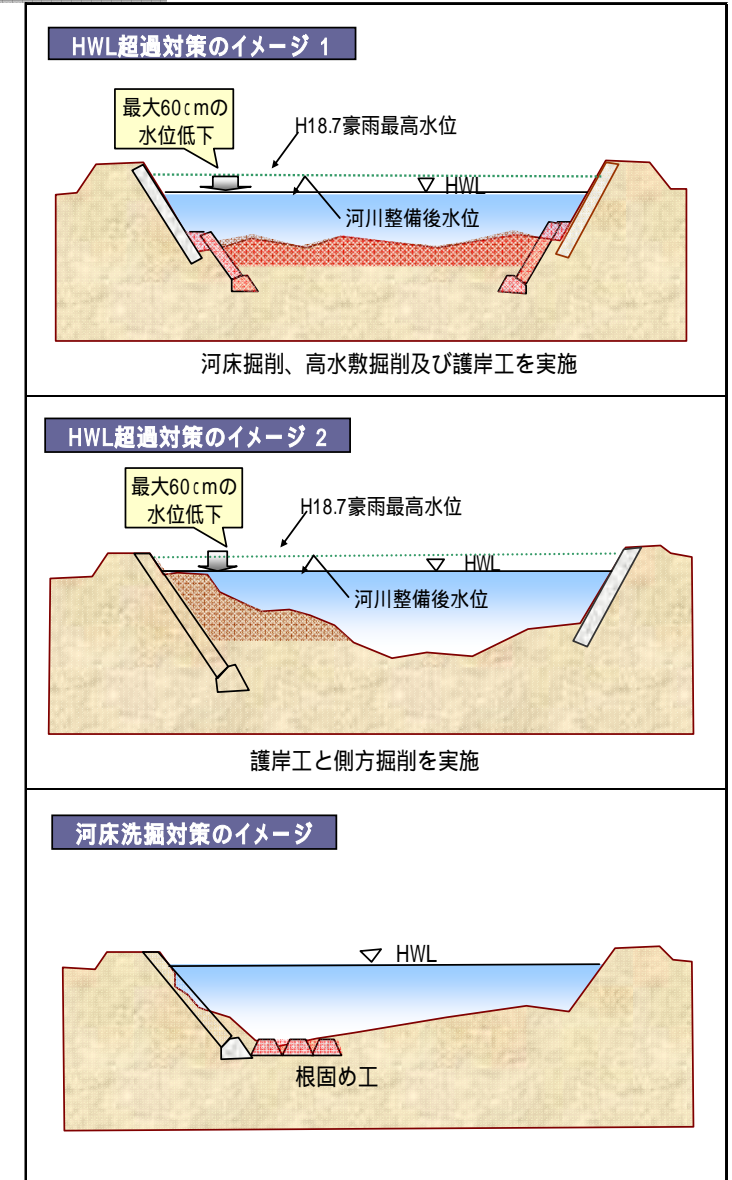
計画概要図



被災及び復旧状況写真



標準横断面図



河川災害復旧助成事業 舟渡川 諏訪市 渋崎地区～杉菜池地区

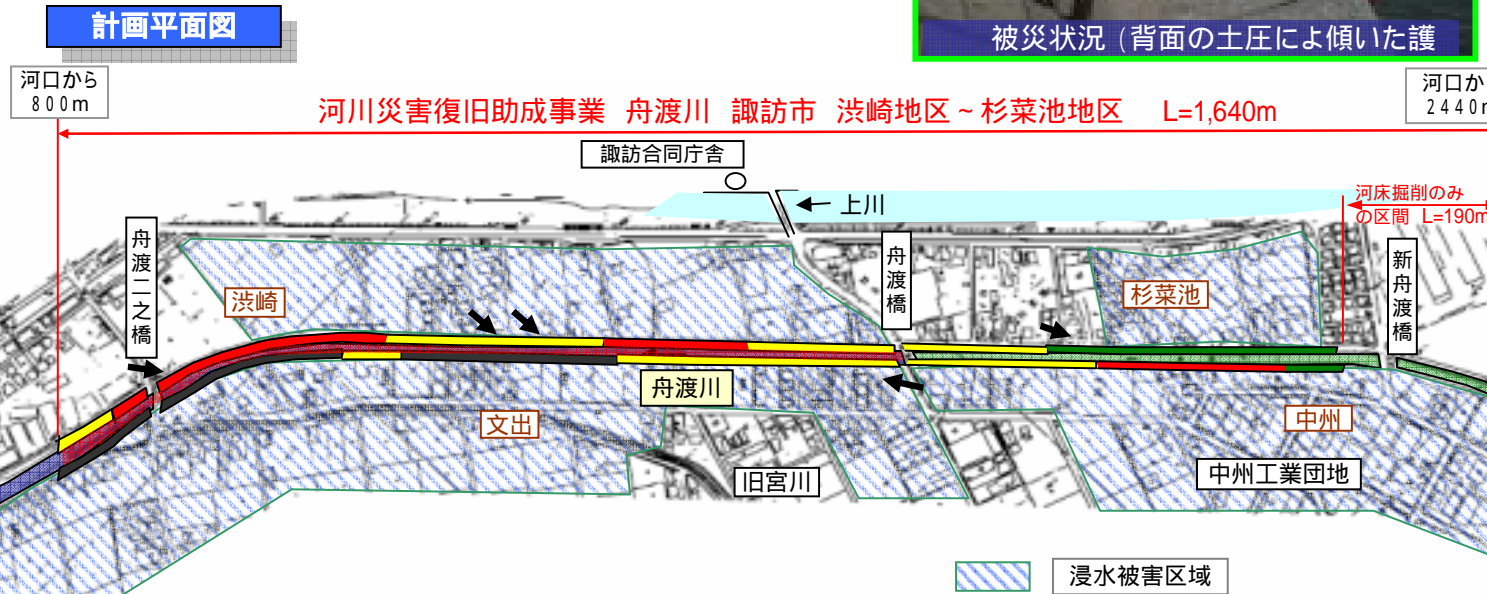
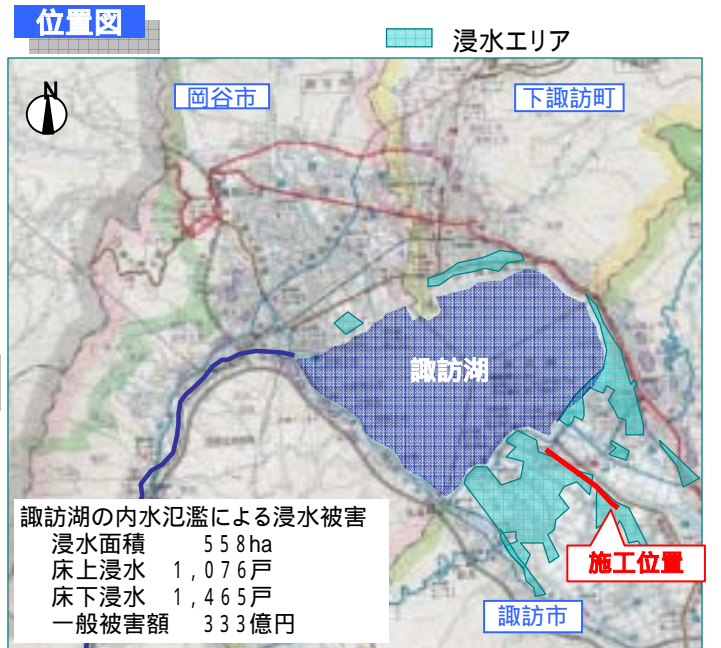
平成18年7月15日以降、停滞した梅雨前線の影響による降雨は、7月18日から19日未明にかけて雨足が強くなり、7月17日から19日までの総雨量が岡谷市釜口水門で400mmを記録しました。

この降雨による流入河川の増水の影響で、諏訪湖の水位が計画高水位を13cm超過したことにより、諏訪湖周辺各地で溢水被害が生じました。特に舟渡川の下流域では、護岸の変状をきたすとともに内水氾濫が発生し、床上浸水50戸、床下浸水381戸、浸水面積128haの被害が発生しました。

このため舟渡川では、諏訪湖水位が計画高水位まで低減されることを前提に、河床掘削及び護岸の補強を行い河積の拡大を図ることにより、今回と同規模の洪水を計画高水位以下に安全に流下させることを目標に改修を進めています。



被災状況（背面の土圧によいたたかれた護

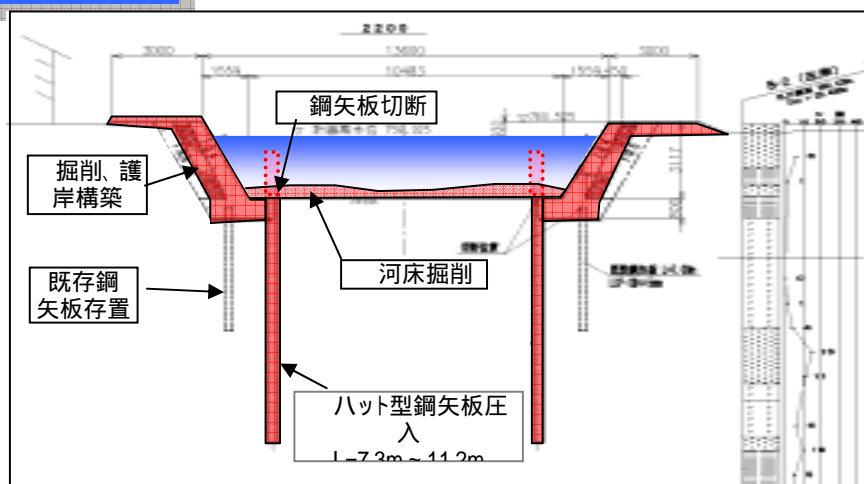


H18年度予算工事	護岸工(左右岸) L= 503m
H19年度予算工事	護岸工(左右岸) L=1,348m
H20年度予算工事	護岸工(左右岸) L= 637m 河床掘削工 L= 940m
H21年度予算工事	護岸工(左右岸) L= 375m 河床掘削工 L= 700m

被災経緯	7月19日7時頃	諏訪湖流入量がピークとなる
	19日9時頃から21時まで	諏訪湖水位が高水位を13cm超えたため、護岸天端(余裕20cm)を越えて溢水した。
被災状況	浸水被害面積 128ha 床上浸水 50戸 床下浸水 381戸	



標準横断面図

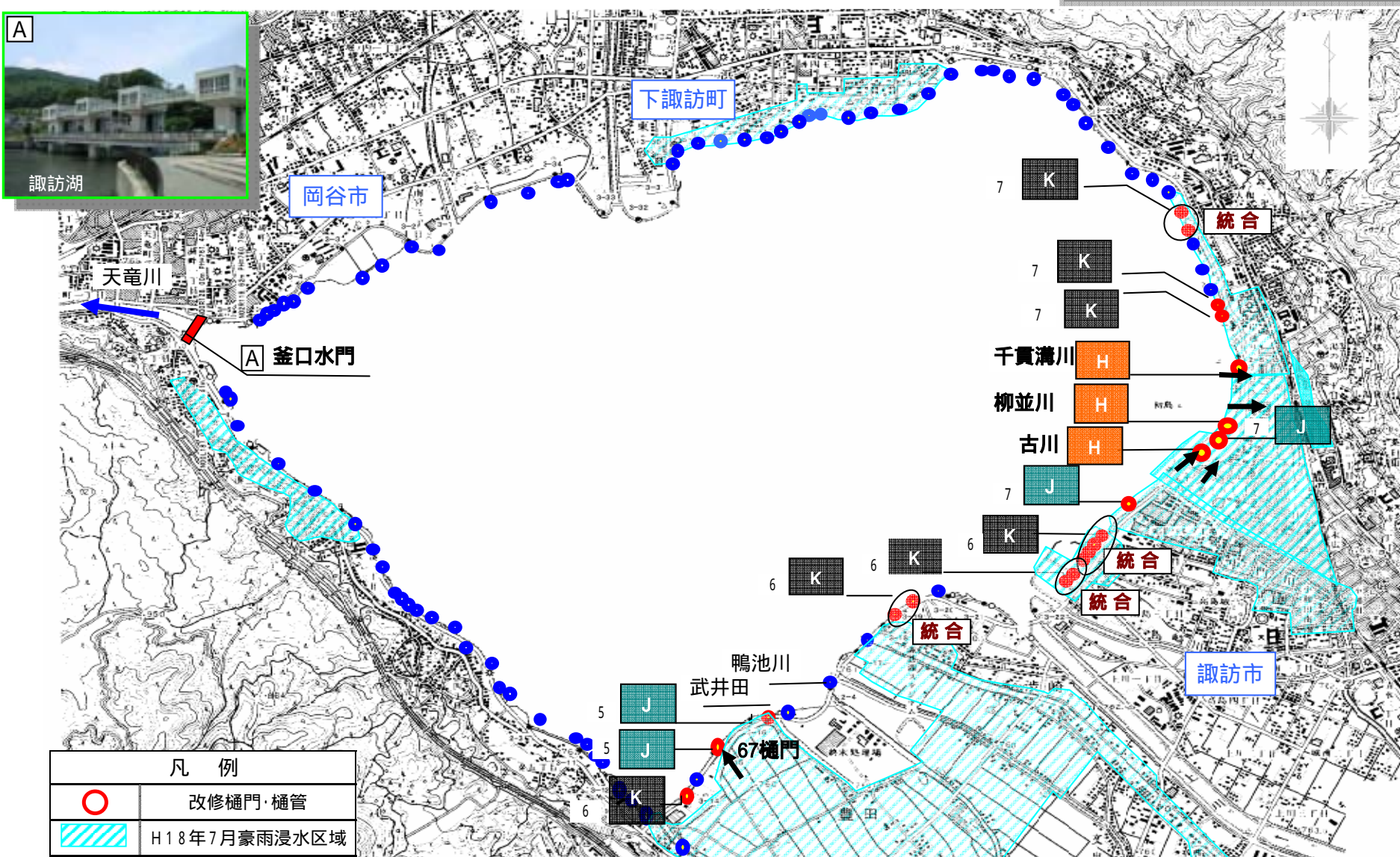
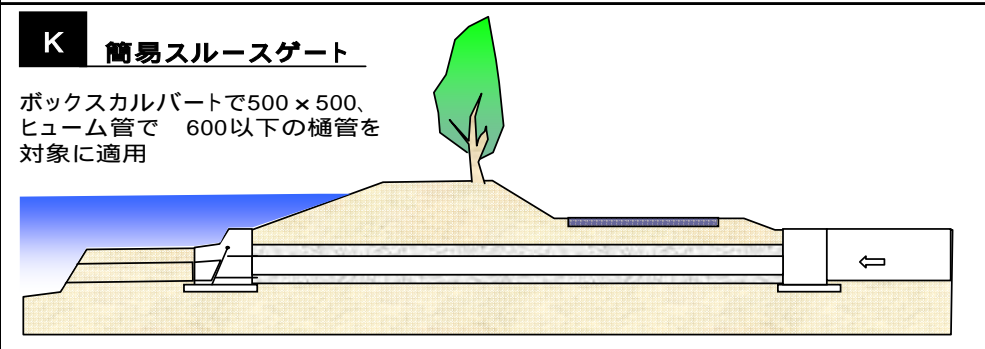
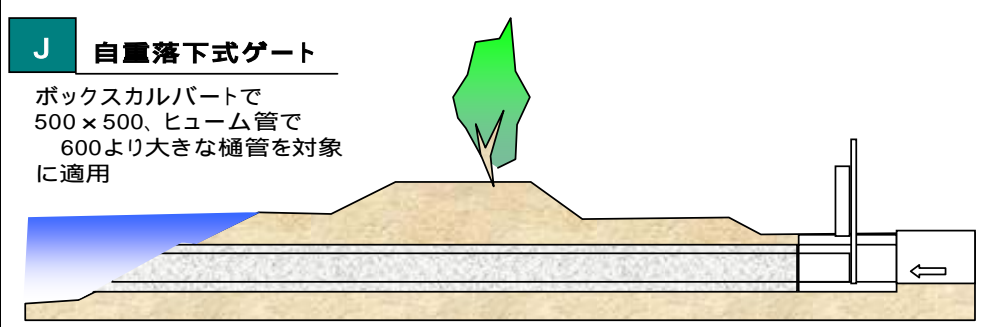
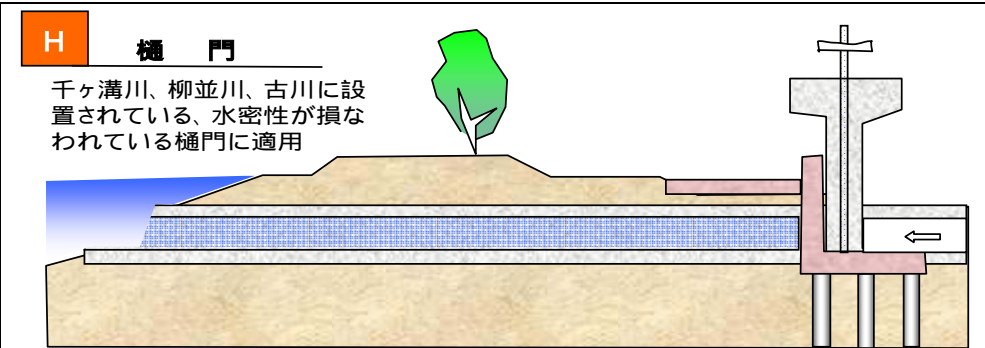


河川激甚災害対策特別緊急事業 (一) 諏訪湖 諏訪市 下諏訪町 岡谷市

平成18年7月豪雨では、諏訪湖の水位が計画高水位を超過したことや諏訪湖へ流入する樋門・樋管の水密性が不完全だったこと、水位上昇と連動したゲート操作が十分でなかったこと等により、多量の湖水が堤内地に逆流し諏訪湖周辺の浸水被害が拡大しました。

このため、平成18年7月豪雨と同規模の洪水が再来しても、諏訪湖の水位が計画高水位以下となるよう釜口水門の最大放流量を400m³/sから430m³/sに増加させるとともに、樋管・樋門の改修を行い諏訪湖からの逆流防止を図ります。

- ・樋門・樋管の改修 14基
- ・樋門・樋管の統合 6基



完了工事の内訳

工種	樋門			樋管		復旧
	1工区	2工区	3工区	6工区	7工区	
躯体工事	千貫溝	柳並川	古川	樋管 4基	樋管 5基	舗装・植栽復旧 1-3工区施工に伴う 公園内復旧工事
	ゲート製作据付は4工区で実施					
ゲート製作・据付	4工区		5工区	釜口水門の操作性向上工事	8工区	
	ゲート製作据付 3基 千貫溝・柳並川・古川		ゲート製作据付 2基		演算処理装置二重化工事1式 ゲート自動制御機能追加工事1式	

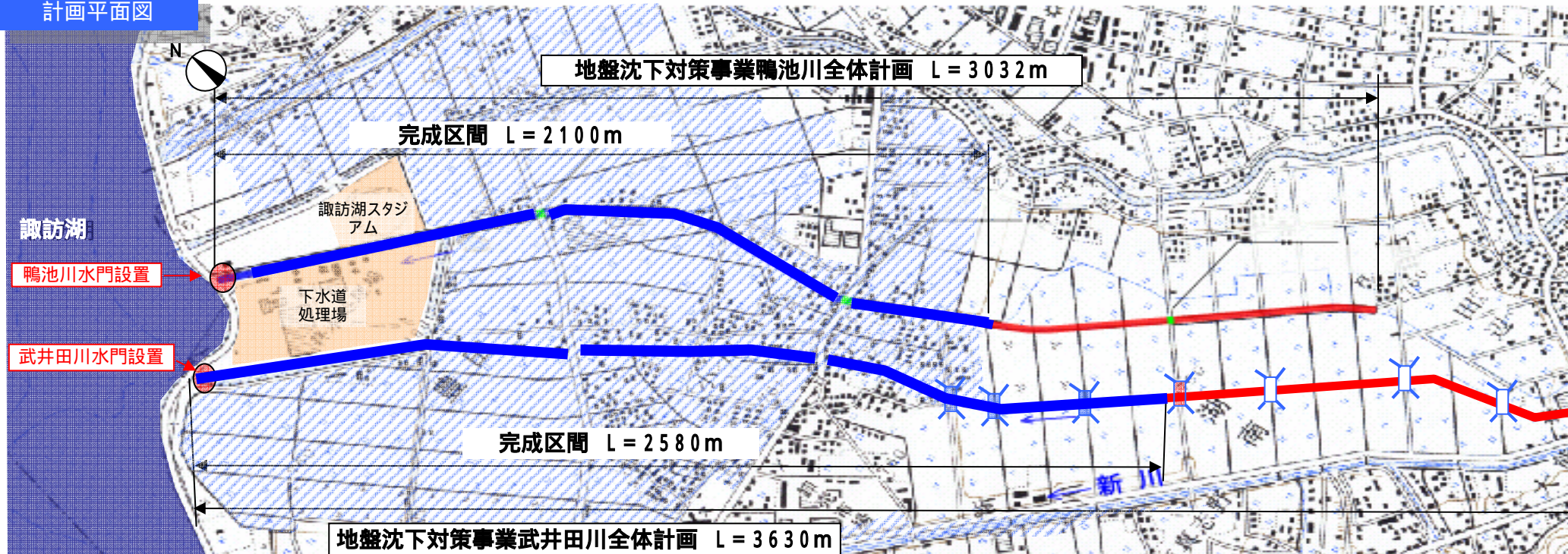


河川激甚災害対策特別緊急事業 武井田川・鴨池川 諏訪市 豊田

平成18年7月15日以降に停滞した梅雨前線の影響による降雨は、7月18日～19日未明にかけて雨足が強くなり、釜口水門における連続雨量が400mmを記録しました。この降雨による流入河川の増水の影響で、諏訪湖の水位が計画高水位を13cm超過し、諏訪湖周辺で、浸水面積560ha、床上浸水1076戸、床下浸水1465戸の甚大な浸水被害が発生しました。

特に武井田川及び鴨池川周辺では、諏訪湖の水位上昇に伴うバックウォーターで床上浸水など多大な被害を被りました。そのため、近年の異常気象によるこうした被害を軽減するため、武井田川・鴨池川に逆流防止の水門を設置します。

計画平面図



被害状況写真



諏訪市豊田地区周辺の浸水状況

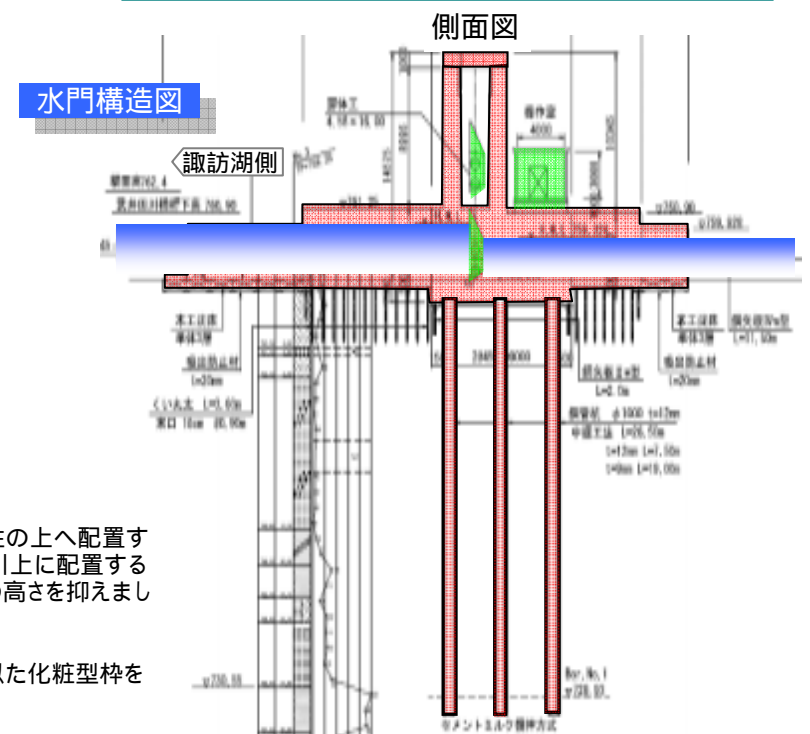
水門イメージ図



景観への配慮

ゲートの操作室は門柱の上へ配置するのが一般的ですが、川上に配置することにより構造物全体の高さを抑えました。

壁面には、自然石に似た化粧型枠を使用しました。



武井田川水門本体工の施工状況(右岸側底板部を施工中)H21.1.15撮影

国補 床上浸水対策・激甚災害対策特別緊急事業（一）新川 諏訪市 湖南

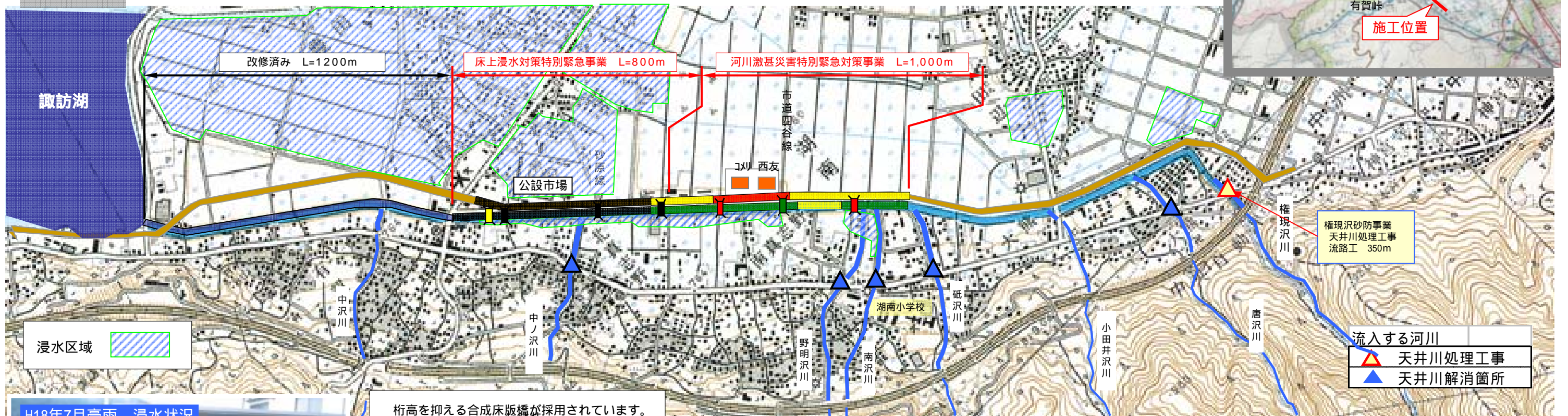
諏訪湖南西部の山地を源流とする新川は、西山から流れ出るいくつかの河川を合流しながら諏訪湖に流入する河川で、諏訪湖河口から1.2 kmは改修事業が完了したが、その上流では、河積が狭く、堤防の高さが所々低くなっているため、たびたび浸水被害が発生している。

平成18年7月豪雨により床上浸水34戸、床下浸水96戸の浸水被害が発生し、床上浸水対策事業から激特事業に移行した。

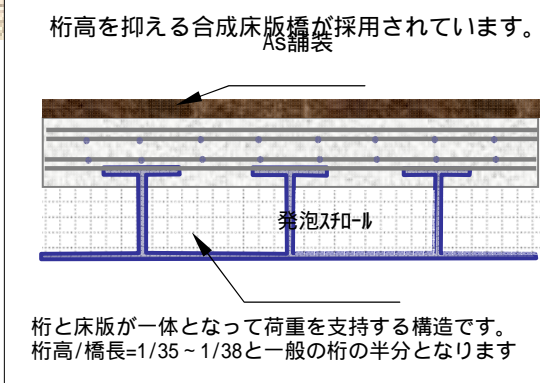
被災状況	床上浸水 34 戸、床下浸水 96 戸	
被災経緯	7/18 16:15	西山土砂流出の恐れあり岡谷茅野線交通規制
	7/18 16:00	新川沿いの市道が浸水で交通止
	7/19 9:00	新川沿いの市道規制解除
	7/19 19:50	岡谷茅野線規制解除



平面図



H18年7月豪雨 浸水状況

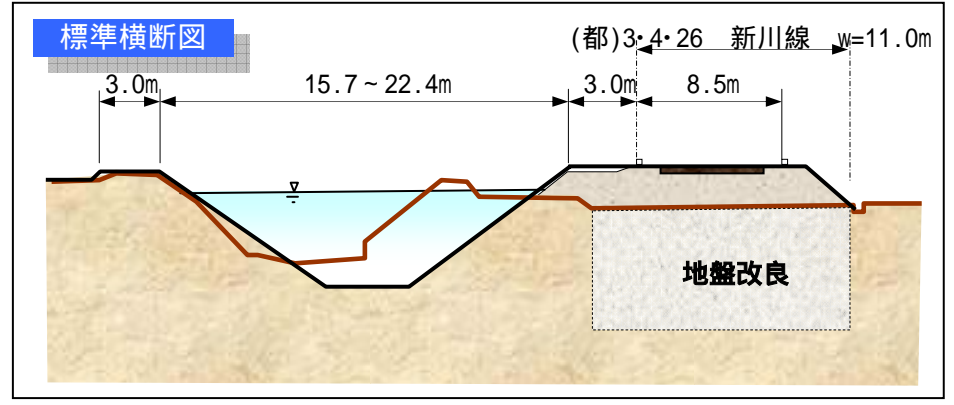


概成区間



負担について

- 道路負担
 - 道路拡幅幅分1.5m
 - 縦断計画改良による地盤改良費用
- 諏訪市負担
 - 14橋梁を統廃合し、7橋架替
 - 橋梁拡幅等による負担



河川激甚災害対策特別緊急事業 承知川 下諏訪町 富部

平成18年7月15日から梅雨前線の停滞により降り始めた降雨は、18日から19日未明にかけて雨あしが強くなり、下諏訪町役場の観測の連続雨量が360mmに達した。

急流河川である承知川の中流域の護岸決壊や天然護岸から発生した土砂は、縦断が緩くなるJR橋付近で、埋塞したことにより、国道20号及び中央東線が冠水し、7月18日21時から約39時間不通となるなど公共交通に大きな被害を与えた。

河川激甚災害対策特別緊急事業を投入することにより、JRの橋の架け替えを含めた、延長200m区間を、河川拡幅し再度災害の防止を図る。

被災経緯	7月19日5時頃	土石流がJR橋付近に堆積し河川が埋塞
		国道20号JR中央東線不通に
	同日23時50分	20号交通止め解除
被災状況	20日12時25分	中央東線不通解除 (39時間)
		浸水被害面積 1.5ha 床上浸水 5戸 床下浸水28戸

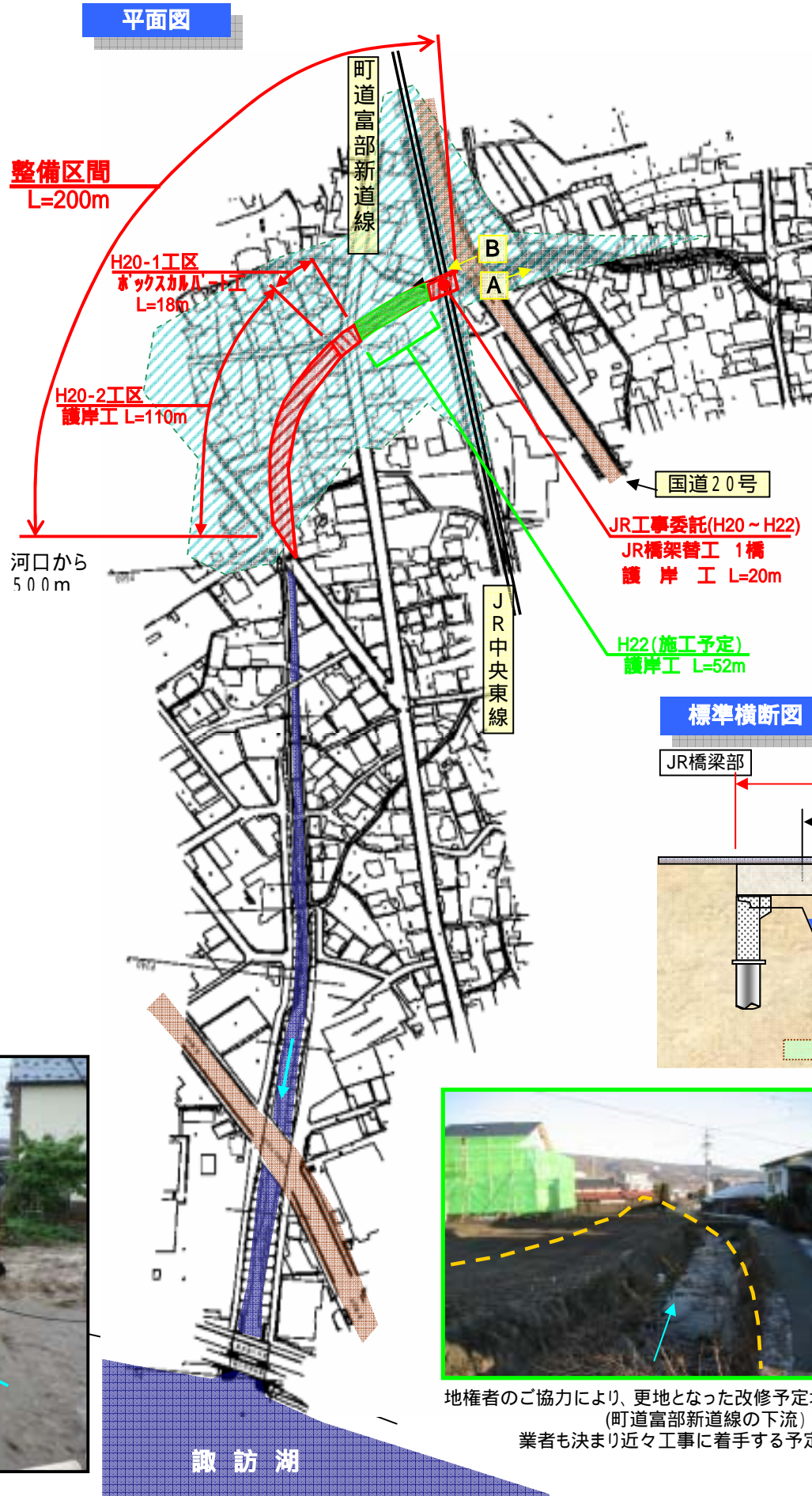
被災状況写真



国道20号より上流の状況(A)



JR中央東線の冠水状況(B)



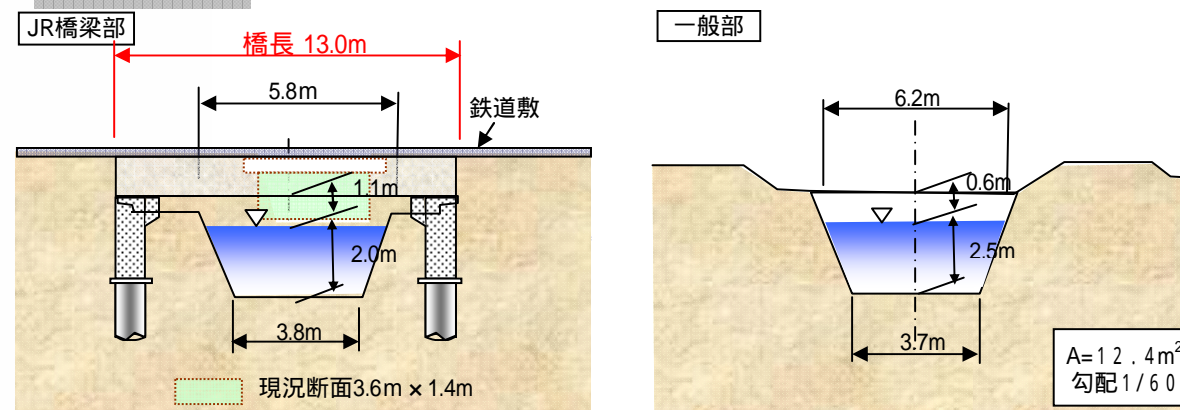
砂防激甚災害対策特別緊急事業



上流からの土石流対策として平成19年度~21年度の3カ年に砂防激甚災害対策特別緊急事業を投入し、砂防えん堤1基を整備します。今年度は事業用地を取得し、工事に着手する予定です。



標準横断面図



地権者のご協力により、更地となった改修予定地(町道富部新道線の下流)業者も決まり近々工事に着手する予定



掘削に着手した町道富部新道線のボックスカルバート工事

